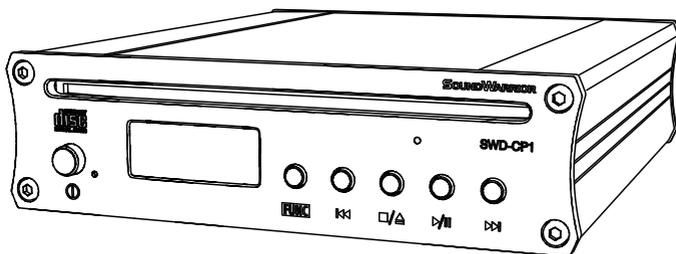


SOUNDWARRIOR

CD プレーヤー

SWD-CP1

取扱説明書



目 次

安全上のご注意	2	基本操作	
ご使用前に	4	・基本的な表示	9
特長	4	再生のしかた	
接続例	5	・CDを再生する	10
各部の名前		設定	11
・前面	6	・ディスクについて	12
・リモコンの向き	6	・ディスク挿入口について	12
・背面	7	お困りの時は	13
・リモコン	7	主な仕様	14
・リモコンの電池交換	7	保証規定	15
接続のしかた		アフターサービス	15
・外部機器を接続する	8		
・ACアダプターを接続する	8		

安全上のご注意

安全上の表示説明

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。	
 注意 注意すること	 禁止 してはいけないこと	 指示 必ず行うこと

警告



AC アダプターを
コンセントから抜く

異常が発生したらすぐに AC アダプターをコンセントから抜く

- 煙やにおい、異音が生ずるとき
- 機器に水がかかったとき
- 落としたり破損したりしたとき

直ちに使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。



風呂場での使用禁止

風呂場やシャワー室で使用しない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



水濡れ禁止

屋外で使用しない

花瓶や液体の入った容器をそばに置かない

内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。



分解禁止

カバーやパネルを外さない

改造しない

火災・感電の原因となります。

本機や AC アダプターの放熱を妨げない

布をかけたり、狭い場所や通気性の悪い場所に設置したりしないでください。
火災の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものを載せたり、無理に曲げたりしない
コードの破損により、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら触れない

感電の原因となります。



禁止

長時間、大音量で聴かない

聴覚障害の原因となります。

警告



指示

AC アダプターはコンセントに確実に差し込む
AC アダプターのプラグは定期的に清掃する
プラグとコンセントの周囲にほこりが付着すると火災・感電の原因となります。

注意



ぬれた手で触れない

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源に付属の AC アダプター以外は使用しない
火災や感電、故障の原因となります。

AC アダプターを抜くときはコードを引っ張らない
コードが損傷し、火災・感電の原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない
落下によるけがの原因となります。

湿気やほこりが多い場所に設置しない
調理台や加湿器のそば、油煙や湯気が当たる場所などに設置しない
火災・感電の原因になることがあります。

長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く



指示

接続する音響機器は取扱説明書に従って使用する

電源を切る前に音量を最小にする
音量を絞ってから入力機器を接続する
電源を入れた時に大きな音が出ると、聴覚障害や機器の故障の原因となります。

電池の取り扱いについて

警告

高温になる場所で保管しない
破裂や液漏れ、発火により、火災やけがの原因となります。



禁止

金属製の小物類と一緒に携帯または保管しない
ショートして液漏れや破裂、発熱などの原因となります。

指定以外の電池は使用しない
破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となります。



指示

電池は極性表示に注意して正しく入れる
間違えると電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となります。

長期間使用しないときは電池を取り出す
液漏れにより、火災やけがの原因となります。

ご使用前に

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、この取扱説明書をお読みください。またお読みになったあとは、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

1 付属品

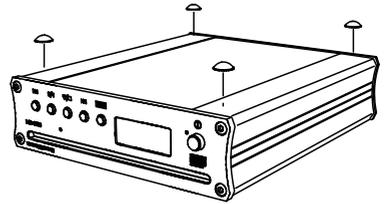
本製品の同梱の付属品をご確認ください。

- ACアダプター 1個
- リモコン 1個
- ゴム足 4個
- 取扱説明書（本書） 1冊

ご使用になる再生機器と本機との接続コードは、別途ご用意ください。

2 ゴム足を取り付ける

付属のゴム足を本体の底面に貼りつけてください。



3 設置する

横向きに設置します。

ラジオやテレビの音声に雑音が入ったり、画像が乱れたりする場合は、ラジオ、テレビ、チューナー、室内アンテナなどから本機を離して設置してください。

4 お手入れのしかた

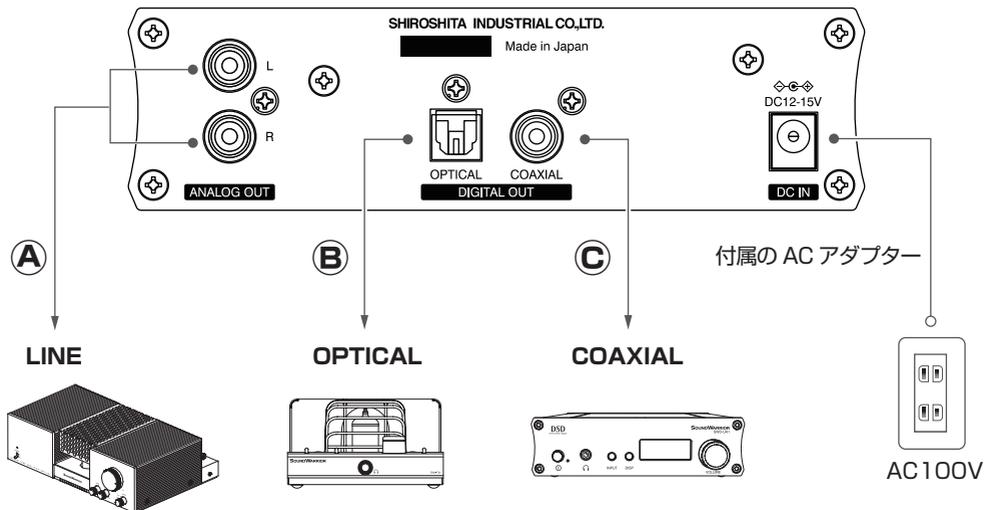
水でぬらし固く絞った柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

特長

SWD-CP1は、CDを高品位に楽しめるMade in JapanのコンパクトCDプレーヤーです。出力端子にはアナログ出力(LINE)のほかに、デジタル出力も2系統(光、同軸)備え、お好きな外部DACにデジタル信号のまま転送するトランスポートとしてもご使用いただけます。また、CDドライブを実装する中で可能な限り本体サイズを小型化することで、デスク周りやTVボード、ラック・シェルフなど様々な場所に設置可能となっています。シンプルながらCDプレーヤーとして必要十分な機能を実装しました。

接続例

背面



アナログ音声入力端子付き
・プリメインアンプ
・パワーアンプ

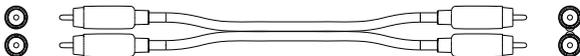
光デジタル入力端子付き
・D/A コンバーター

同軸デジタル入力端子付き
・D/A コンバーター

接続ケーブル

ご使用の外部機器に合わせて必要な接続ケーブルは別途ご用意ください。

① RCAオーディオケーブル



② 光デジタルケーブル(OPTICAL)

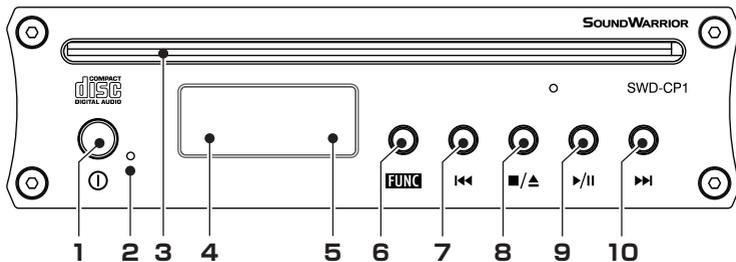


③ RCA同軸デジタルケーブル(COAXIAL)



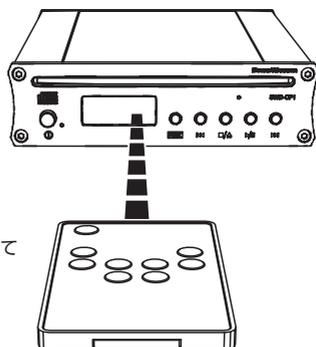
各部の名前

前面



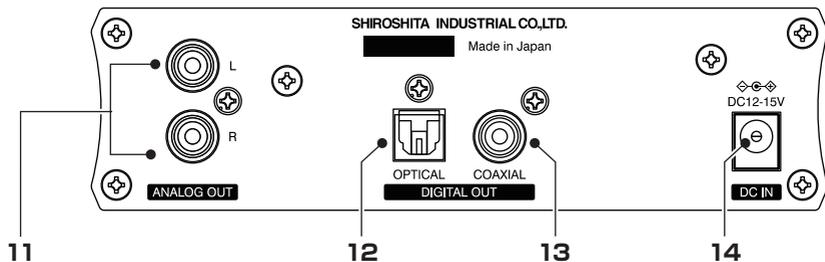
- | | |
|------------------------|--|
| 1. 電源スイッチ (①) | 電源の入 / 切をします。 |
| 2. 電源ランプ | 電源が入ると点灯します。 |
| 3. ディスク挿入口 | ディスクを挿入します。 |
| 4. ディスプレイ | 各種情報を表示します。 |
| 5. リモコン受光部 | リモコンからの信号を受信します。 |
| 6. 機能ボタン (FUNC) | ・短押し：リピートモードに切り替わります。
・長押し：「設定モード」になり、◀◀ / ▶▶ ボタンを押すことで各種設定を変更できます。 |
| 7. 戻りスキップボタン (◀◀) | ・短押し：現在または前曲の先頭にスキップします。
・長押し：再生中に再生曲を早戻しし、指を離れたところから再生されます。 |
| 8. 停止 / 取り出しボタン (■/▲) | ・再生中に押すと、再生を停止します。
・停止中に押すと、ディスクが途中まで排出されます。 |
| 9. 再生 / 一時停止ボタン (▶/) | ・停止中に押すと、再生を開始します。
・再生中に押すと、再生を一時停止します。 |
| 10. 送りスキップボタン (▶▶) | ・短押し：次の曲の先頭にスキップします。
・長押し：再生中に再生曲を早送りし、指を離れたところから再生されます。 |

リモコンの向き



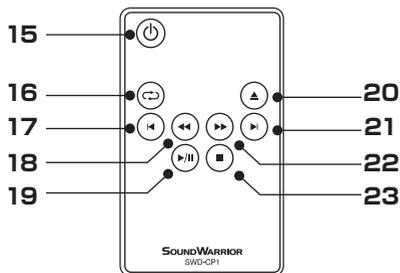
リモコンはリモコン受光部に向けて
ご使用ください。

背面



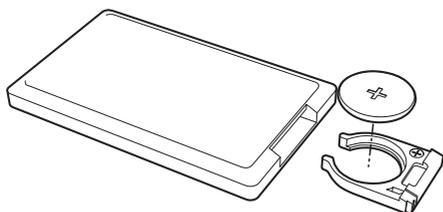
11. ANALOG OUT	アナログ音声入力端子 アナログ音声出力端子付きの機器を接続します (LINE出力端子)。
12. OPTICAL	光デジタル音声出力端子 光デジタル音声入力端子付きの機器を接続します。
13. COAXIAL	同軸デジタル音声出力端子 同軸デジタル音声入力端子付きの機器を接続します。
14. DC IN	電源入力端子 付属のACアダプターを接続します。

リモコン



15. 電源ボタン	電源の入/切をします (スタンバイ)
16. リピートボタン	リピートモードの切り換え
17. 戻りスキップボタン	現在の曲または前曲の頭出し
18. 早戻り	早戻り再生
19. 再生 / 一時停止ボタン	再生を開始 / 再生中の一時停止
20. 取り出しボタン	ディスクの取り出し
21. 送りスキップボタン	次曲の頭出し
22. 早送り	早送り再生
23. 停止ボタン	再生を停止

リモコンの電池交換



電池交換の際はコイン型リチウム電池 CR2025
または CR2032 を使用してください。

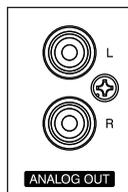
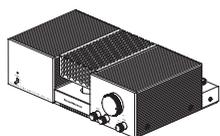
電池のプラス・マイナスを確認して正しく入れてください。

接続のしかた

外部機器を接続する

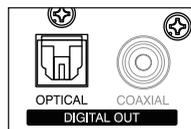
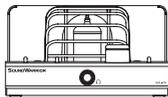
● ANALOG OUT 出力端子

アナログ音声入力付きの機器を接続します。市販の RCA オーディオケーブルを使用し、端子とケーブルを同じ色（白と白、赤と赤）で接続します。



● OPTICAL 出力端子

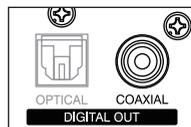
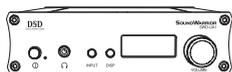
光デジタル音声入力付きの D/A コンバーターなどを接続します。市販の角型光デジタル (TOS-Link) ケーブルで接続します。



※丸ピン型の光デジタルケーブルは使用できません。

● COAXIAL 出力端子

同軸デジタル音声入力付きの D/A コンバーターなどを接続します。市販の RCA 同軸デジタルケーブルケーブルで接続します。



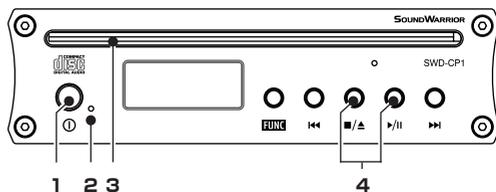
AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを電源入力端子 (DC IN) に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。

基本操作

1 電源を入れる

本体の ① を押して電源を入れます。



2 スタンバイ状態

本体の電源が入った状態で、リモコンの電源ボタンを押すとスタンバイ状態になります。スタンバイ状態から再び電源を入れるときは、リモコンの電源ボタンを押してください。
※本体の電源が切れている状態のリモコン操作はできません。

3 ディスクの挿入

「ディスク挿入口」にディスクの一部を挿入すると自動的に引き込まれます。ディスクが読み込めない場合は、約 15 秒後に自動で排出されます。

4 再生する

▶/|| を押すと再生をはじめます。■/▲を押すと停止します。

5 電源を切る

本体の ① を押して電源を切ります。

基本的な表示

CD が選択されている時

Reading

CD が挿入されている場合はディスプレイに「Reading」が表示され、ディスク情報の読み出しが始まります。

No Disc

ディスクが挿入されていない場合は「No Disc」が表示されます。

01 0:15

CD ディスプレイにトラック番号と「時間」が表示され、再生可能な状態になります。

再生のしかた

[MQA-CD を再生する場合] MQA のデジタル出力には対応しておりません。
本機のデジタル出力を外部の MQA 対応 DAC に入力した場合、MQA が正しく検出されずノイズが発生することがあります。通常の CD を再生して MQA 対応 DAC に接続する事は可能です。

CD を再生する

● 再生 / 一時停止

▶/|| ボタンを押すと再生をはじめます。再生中に ▶/|| ボタンを押すと一時停止します。

● 曲をスキップする

▶▶ ボタンを押すと次の曲を再生します。◀◀ ボタンを押すと現在の曲をはじめから再生し、続けてもう一度押すと前の曲を再生します。

● 聴きたい部分を探す（早送り / 早戻り）

▶▶ ボタンを押し続けると早送り再生をし、ボタンを離すと現在の位置から再生をはじめます。リモコン操作では、再生中または一時停止中に ▶▶ を1回押すと早送り、早送り中に ▶▶ を1回押すと再生または一時停止に戻ります。

◀◀ ボタンを押し続けると早戻り再生をし、ボタンを離すと現在の位置から再生をはじめます。リモコン操作では、再生中または一時停止中に ◀◀ を1回押すと早戻り、早戻り中に ◀◀ を1回押すと再生または一時停止に戻ります。

● リピート再生

FUNC ボタン（またはリモコン ）を押すごとにリピートモードが変わりディスプレイに表示されます。

表示	機能	
表示なし	リピートオフ	ディスクを1回再生して停止します。
	全曲リピート	全曲を繰り返し再生します。
	1曲リピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
	ランダムリピート	ディスクの全曲をランダムに再生し続けます。
	ランダム1回	ディスクの全曲をランダムに一回ずつ再生して停止します。



表示例：1曲リピート

● 停止

再生中または一時停止中に ■/▲ ボタン（またはリモコン ）を押すと再生が停止します。

● 取り出し

停止中に ■/▲ ボタン（またはリモコン ）を押すとディスクが排出されます。

【プリエンファシス CD 再生】

LINE 出力端子からはディエンファシスされた音声を出力します。
Coaxial 及び Optical 出力端子の音声はディエンファシス処理されません。



設定

1 **FUNC** ボタンを約 2 秒押し続けると、各種機能を設定できる設定モードになります。

2 **FUNC** ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります。

3 **◀◀** ボタンまたは **▶▶** ボタンで設定値を変更します。

※設定値は電源を切っても記憶されます。

※工場出荷時の設定値にしたい場合は **■/▲** ボタンを押します。

表示	設定項目	設定値
Setting Attenuator 0.0dB	Attenuator アナログ出力の音量調節	-35.0dB ~ +4.5dB の間で変更します。工場出荷時 0.0dB です。
Setting LR Balance L R 0.0 0.0	LR Balance アナログ出力の左右バランス	設定範囲は -20.0dB ~ 0.0dB です。
Setting LED Bright 10	LED Bright 電源ランプの輝度	0 (消灯)、1 (暗い)~20 (明るい) の間で変更します。
Setting Disp Bright 50	Disp Bright ディスプレイの輝度	0 (暗い)~100 (明るい) の間で変更します。
Setting Screen saver ON	Screen Saver スクリーンセーバー	ON : 最後の操作から約 1 時間後にスクリーンセーバーが起動します。 OFF : スクリーンセーバーを無効にします。 Display Off : 最後の操作から約 1 時間後にディスプレイ表示が消えます。
Setting Power-on Play OFF	Power-on Play 電源投入時の自動再生	OFF : 電源を入れた時に CD を自動で再生しません ON : 電源を入れた時に CD を自動で再生します。
Setting Auto Play OFF	Auto Play CD 挿入時の自動再生	OFF : CD を挿入した時に CD を自動で再生しません ON : CD を挿入した時に CD を自動で再生します。

ディスクについて

- 本機で再生できるディスクは [Compact Disc Digital Audio] のロゴマークのついたコンパクトディスク (CD/12cm) です。
- CD-R および CD-RW の場合は CD-DA (音楽 CD・オーディオ CD) で記録され、クローズ (ファイナライズ) されている必要があります。
- CD-R および CD-RW は、品質の劣化により読み込めなくなることがあります。
- ディスク特性や録音の条件により、再生できないものがあります。また、コピーコントロール CD (CCCD) は再生できない場合があります。
- CD 規格外の形状のディスク (名刺形、デュアルディスク) や 8cm ディスク、シールやテープを貼ったディスクを使用しないで下さい。故障やディスクが取り出せなくなる原因になります。
- ディスクが汚れている場合は、市販のディスククリーニングキットや柔らかい布などで拭き取ってから挿入して下さい。アナログレコード用スプレーや帯電防止剤、ベンジンやシンナーなど揮発性の溶剤や薬品は使用しないで下さい。



ディスク挿入口について

レンズクリーナーは使用しないで下さい

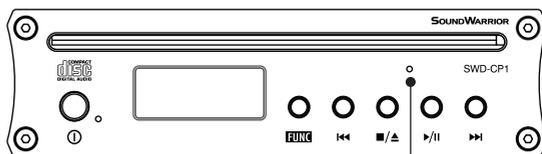
また、ディスク挿入口には異物を入れないで下さい。故障の原因となります。

■ ディスクが取り出せなくなった場合

停止中に **■/▲** を押し続けると強制的にディスクが排出されます。

または本機の電源を切り、「ディスク排出穴」に直径 1mm 程度の金属棒を、1cm 程度差し込みます。反応がない場合は何度か押ししてください。ディスクが排出されます。

※**金属棒を差し込む際は、必ず電源を切ってください。回転中に非常排出すると、怪我や機器等破損の原因になります。**



ディスク排出穴

お困りの時は

■ CD が読み込めない

原因として主に考えられること	対処方法
CD に異常がある。	ディスク表面に傷や汚れがないか確認して下さい。 CD-DA 規格のオーディオ CD であることを確認して下さい。 CD-DA 規格のディスクには右のロゴが印字されています。 
再生可能なディスクではない。	DVD、Blu-ray ディスクは使用できません。 CD-R、CD-RW はディスクの劣化により読み込めないことがあります。 本機の CD ユニットはスロットイン式スリムタイプのため、トレイ式の CD ユニットよりも劣化したディスクを読み込みにくい場合があります。
機械的な動作音が大きい。	本機の CD ユニットはスロットイン式スリムタイプのため、トレイ式の CD ユニットよりも動作音が大きい傾向があります。

■ 入力信号が認識されない (OPTICAL / COAXIAL)

原因として主に考えられること	対処方法
オーディオ CD 再生時はリニア PCM が出力されます。	本機が対応しているのはリニア PCM 信号 (LPCM) です。ご使用のデジタル機器の設定をご確認ください。
ケーブルに異常がある	ケーブルがきちんと差し込まれているかご確認ください。ケーブルが断線していないかご確認ください。
入力側の機器に問題がある。	入力側の機器の状態をご確認下さい。

■ 音声が出力されない / 音量が小さい

原因として主に考えられること	対処方法
設定モードの「Attenuator 設定」が小さくなっている	音量設定値をご確認下さい。

主な仕様

■ 一般

型番

電源電圧

消費電力

外形寸法

本体質量

動作温度環境

付属品

SWD-CP1

DC 12 V ~ 15 V (AC アダプター)

12W

146.5mm (W) × 165.6mm (D) × 40mm (H) (突起物含まず)

146.5mm (W) × 175.6mm (D) × 42.8mm (H) (最大)

約 0.9kg

5 °C ~ 40 °C

AC アダプター x1、リモコン ×1、ゴム足 ×4、取扱説明書 x1

■ デジタル出力

OPTICAL 端子

COAXIAL 端子

- 信号規格
- サンプル周波数
- 量子化ビット数

角型光デジタル (TOS-Link)

RCA ピンジャック

S/PDIF(IEC-60958) 2ch リニア PCM

44.1 kHz

16 bit

■ アナログ出力

アナログ端子

- 最大出力
- 工場出荷時

LINE 出力 : RCA ピンジャック L/R

13.8dBm (3.8Vrms) ※デジタルフルスケール時

9.8dBm (2.4Vrms) ※デジタルフルスケール時

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

型番：SWD-CP1

保証期間：ご購入日より1年

保証規定

For Japan Only

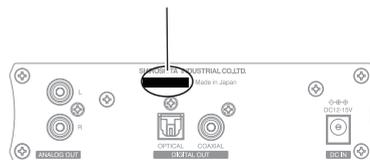
- 1、本製品の保証期間は、新品で購入された製品であり、ご購入日から1年間です。
- 2、本製品を保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に限り、無償で修理もしくは当社の判断による製品交換の範囲に限らせていただきます。
- 3、次にあげる場合には、保証期間内でも本保証の対象外となります。
 - 1) 取扱上の不注意、誤用による故障および損傷の場合。
 - 2) お客様による輸送・移動時の落下、衝撃などによる故障、破損の場合。
 - 3) 当社および当社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - 4) 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
 - 5) 通常想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - 6) 本製品と接続した他の機器に起因して本製品に生じた故障の場合。
 - 7) 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
 - 8) 識別ラベル、シリアル番号、または安全ラベルが除去または変更された場合。
 - 9) 製品購入日（保証開始日）と販売店が分かる書類（レシート・納品書等）のご提示がない場合。
- 4、本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責を負わないものとします。
- 5、消耗・摩耗した部品、その他の付属品及び本製品に接続したソフトウェアやデータなどは保証いたしかねます。
- 6、修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 7、本保証は日本国内においてのみ（本製品が日本国内で購入れられ、日本国内で使用された場合においてのみ）有効です。

This Warranty only applies to Products purchased and used in Japan.

- 製品のシリアル番号をお確かめの上、下記の欄にご記入ください。

シリアル番号

シリアル番号:本体背面



ホームページのサポートページにはよくある質問（FAQ）などが掲載されています。
<https://soundwarrior.jp/support/>



アフターサービス

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。お困りの場合は公式サイトからメールをお送りいただくか、またはお電話でお問い合わせください。

■メールでのお問い合わせ <https://soundwarrior.jp/contact/>

■お問い合わせ窓口(城下工業) TEL: 03-6801-5355 平日10時~17時(土日祝祭日を除く)

1、保証期間中の修理をご希望の際は、製品購入日がわかる書類(レシートや領収書)をご提示の上、下記の事項を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。● 型番、シリアル番号(上記イラストを参照)、氏名、電話番号、住所、メールアドレス、故障状況とご使用の環境

2、保証期間が過ぎ修理が可能な場合は、有償にて承ります。お買い上げの販売店へご相談ください。



お問い合わせ

SOUNDWARRIOR
<https://soundwarrior.jp/>



製造元

SHIROSHITA

城下工業株式会社
SHIROSHITA INDUSTRIAL CO.,LTD.

〒386-0015 長野県上田市常入 1-1-58

Printed In Japan
18QA0415AN